

# 口腔疾患の診断・治療計画および予防 (DTP : Diagnosis Treatment Planning and Prevention)

(H24 年 10 月 3 日～11 月 2 日)

コース責任者：(主) 阿部晶子、青村知幸、野田守、中居賢司、佐藤雅仁

担当講座(分野) 担当 Director：歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 野田守教授、工藤義之准教授、  
成石浩司准教授

口腔顎顔面再建学講座(歯科放射線学分野) 東海林理講師

歯科保存学講座(歯周療法学分野) 八重柏隆准教授

口腔顎顔面再建学講座(口腔外科学分野) 星秀樹准教授、青村知幸助教

口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 佐藤雅仁准教授

口腔保健育成学講座(歯科矯正学分野) 間山寿代助教、佐藤和朗講師

(小児歯科学分野) 齋藤亮講師

口腔医学講座(予防歯科学分野) 阿部晶子講師

生理学講座(病態生理学分野) 成田欣弥講師

第 3 学年 後期

講義

実習

61.5 時間

48.0 時間

## 一般目標(講義・実習)

口腔疾患の診断・治療計画・予防(Diagnosis Treatment Planning and Prevention)のコースにおいては、口腔領域に発症する歯科疾患の病態と病因を理解し、診断・治療計画の立案ならびに予防法についての知識・技術を修得する。

講義、実習を終了後、コース全体としての最終筆記試験を実施する。

## 講義・実習日程(講義：歯学部 6 階第 4 講義室)

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10 月 3 日 (水) 1 限	コースディレクター 阿部晶子講師	<b>DTP コースガイダンス</b>  DTP で修得すべきことを理解する。	DTP コースで修得する項目を列挙できる。
10 月 3 日 (水) 2 限	南健太郎助教 (予防歯科学)	<b>齲蝕の病因</b>  齲蝕の病因について理解する。	1. 歯・口腔の不潔物を列挙できる。 2. 歯垢の構成成分について説明できる。 3. 歯垢の形成機序について説明できる。 4. 歯垢と齲蝕発症の関係について説明できる。 5. 齲蝕の原因菌を列挙できる。
10 月 3 日 (水) 3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 柳谷隆仁助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)  阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>実習 切削器具の使い方 ルーペの使用法</b>  ルーペを装着下で基本的診療姿勢を修得し、高速切削器具の操作法を理解する。 (3F 臨床実習室)	1. 窩洞形成器具の作動様式と切削法を理解した上で、実際に窩洞形成を行うことができる。 2. 適切な診療姿勢をとることができる。 3. ルーペの調整を行うことができる。 4. ルーペを装着して切削できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月4日(木) 1限	南健太郎助教 (予防歯科学)	<b>齶蝕と脱灰・再石灰化</b>  齶蝕と脱灰・再石灰化について理解する。	脱灰・再石灰化現象を説明できる。
10月4日(木) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>齶蝕の症状と臨床診断</b>  齶蝕の症状と臨床診断を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 齶蝕の病因を説明できる。</li> <li>2. 齶蝕の好発部位を列挙できる。</li> <li>3. 齶蝕を分類と特徴を説明できる。</li> <li>4. 齶蝕の組織像を説明できる。</li> <li>5. 齶蝕の検査法を説明できる。</li> <li>6. 齶蝕の鑑別を説明できる。</li> <li>7. 軟化象牙質を説明できる。</li> <li>8. 感染象牙質を説明できる。</li> <li>9. 齶蝕の硬さ、色を説明できる。</li> <li>10. 齶蝕第1層、第2層を説明できる。</li> <li>11. 透照診を説明できる。</li> <li>12. インピーダンス測定を説明できる。</li> <li>13. レーザー蛍光法を説明できる。</li> </ol>
10月4日(木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 柳谷隆仁助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>実習</b> <b>イニシャルプレパレーションプレート形成実習</b> <b>切削器具の使い方</b> <b>ルーペの使用方法</b>  ルーペを装着下で基本的診療姿勢を修得し、高速切削器具の操作法を理解する。 (3F 臨床実習室)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 適切な診療姿勢をとることができる。</li> <li>2. ルーペの調整を行うことができる。</li> <li>3. ルーペを装着してイニシャルプレパレーションプレートに適切な形態と深さの窩洞を切削できる。</li> </ol>
10月5日(金) 1限	金澤智美助教 (歯周療法学)	<b>歯周疾患の分類</b>  歯周疾患の分類について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯周疾患の分類について説明できる。</li> <li>2. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。</li> <li>3. 慢性歯周炎と侵襲性歯周炎の違いを説明できる。</li> <li>4. 特殊な歯周炎について説明できる。</li> </ol>
10月5日(金) 2限	小関健由教授 (非常勤講師)	<b>特別講義</b> <b>歯周疾患特論</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯周疾患発症のメカニズムを説明できる。</li> </ol>
10月5日(金) 3限	大川義人助教 (歯周療法学)	<b>歯周疾患の臨床診断(X線所見)</b>  歯周疾患の臨床診断(X線所見)について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯周疾患のX線所見を説明できる。</li> <li>2. 咬合性外傷・根分岐部病変のX線所見を説明できる。</li> <li>3. 歯周疾患の基本的な臨床診断ができる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月5日(金) 4限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>臨床ローテーション 実習Ⅰの説明</b>  臨床ローテーション 実習Ⅰの内容、目的を 理解する。	1. 臨床ローテーション実習Ⅰの内容を 列挙できる。 2. 臨床ローテーション実習Ⅰの目的を 説明できる。
10月9日(火) 1限	東海林理講師 (歯科放射線学)	<b>パノラマエックス線 撮影法</b>  パノラマエックス線 撮影法および正常写 真で見られる構造を 理解する。	1. パノラマエックス線撮影の原理と特 徴について説明できる。 2. パノラマエックス線写真で見られる 構造について解剖学的に説明できる。
10月9日(火) 2限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>齲蝕と歯周疾患の予 防:プラークコント ロール</b>  齲蝕と歯周疾患の予 防としてのプラーク コントロールを理解 する。	1. プラークコントロールの意義につい て説明できる。 2. プラークコントロールの種類を列挙 できる。 3. 口腔の不潔物に関する疫学指標につ いて説明できる。
10月9日(火) 3、4限	阿部晶子講師 南健太郎助教 杉浦 剛助教 (予防歯科学)  東海林理講師 (歯科放射線学) 他各診療科	<b>実習 臨床ローテーション 実習Ⅰ</b> A. 口腔内写真撮影実 習 (基礎第3実習室) B. 外来見学実習 (各科外来) C. 口腔清掃評価実習 (外来) D. パノラマエックス 線写真読影実習 (3F臨床実習室)  外来見学をとおして、 外来の仕組みを理解 し、相互実習を行うこ とで、口腔に発症する 疾患の診査、診断、治 療および予防を行う ために必要な基本的 知識、技能、および態 度を身につける。	A. 相互実習の中で口腔内写真撮影を実 施できる。 B. 外来見学をとおして、外来診療の流れ を説明できる。 C. 相互実習の中で口腔内清掃状態の評 価を行い、相互に説明できる。 D. 各自のパノラマエックス線写真の読 影を実施できる。
10月10日(水) 1限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	<b>歯内療法学:歯髄炎の 臨床症状と診査・診断</b>  歯髄炎の臨床症状と 診査・診断法の基礎を 理解する。	1. 歯髄炎の臨床症状を説明できる。 2. 歯髄炎の基礎的な診査法が説明でき る。 3. 歯髄疾患の分類が説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月10日(水) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	<b>歯内療法学:根尖性歯周炎の臨床症状と診査・診断</b>  根尖性歯周炎の臨床症状と診査・診断法の基礎を理解する	1. 根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 2. 根尖性歯周炎の基礎的な診査法が説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類が説明できる。
10月10日(水) 3、4限	阿部晶子講師 南健太郎助教 (予防歯科学)  東海林理講師 (歯科放射線学) 他各診療科	<b>実習 臨床ローテーション 実習 I</b> D 口腔内写真撮影実習 (基礎第3実習室) A 外来見学実習 (各科外来) B 口腔清掃評価実習 (外来) C パノラマエックス線写真読影実習 (3F 臨床実習室)	一般目標、到達目標は10月9日参照のこと。
10月11日(木) 1、2限	阿部晶子講師 南健太郎助教 杉浦 剛助教 (予防歯科学)  東海林理講師 (歯科放射線学) 他各診療科	<b>実習 臨床ローテーション 実習 I</b> C 口腔内写真撮影実習 (基礎第3実習室) D 外来見学実習 (各科外来) A 口腔清掃評価実習 (外来) B パノラマエックス線写真読影実習 (3F 臨床実習室)	一般目標、到達目標は10月9日参照のこと。
10月11日(木) 3限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>自主学習</b> (出席確認無し)	
10月11日(木) 4限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>中間試験</b>	10月3日～10日に学んだ講義の内容を時間内に説明できる。
10月12日(金) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>痛覚の神経生理学</b>  痛覚の神経生理学的メカニズムを理解する。	1. 痛覚の受容器と痛覚情報を伝える神経の経路を説明できる。 2. 痛覚の特徴を説明できる。 3. 急性疼痛と慢性疼痛の発生メカニズムを説明できる。 4. 痛みを抑制するしくみ(下行性痛覚抑制系)を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月12日(金) 2限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	<b>神経障害性疼痛および心因性疼痛</b>  神経障害性疼痛と心因性疼痛について理解する。	1. 痛みの分類を説明できる。 2. 神経障害性疼痛について説明できる。 3. 心因性疼痛について説明できる。
10月12日(金) 3、4限	阿部晶子講師 南健太郎助教 杉浦 剛助教 (予防歯科学)  東海林理講師 (歯科放射線学) 他各診療科	<b>実習 臨床ローテーション 実習 I</b> B 口腔内写真撮影実習 (基礎第3実習室) C 外来見学実習 (各科外来) D 口腔清掃評価実習 (外来) A パノラマエックス線写真読影実習 (3F 臨床実習室)	一般目標、到達目標は10月9日参照のこと。
10月15日(月) 1限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	<b>慢性の顔面疼痛</b>  顎顔面に発症する慢性の顔面疼痛を習得する。	1. 口腔顔面痛の概念を説明できる。 2. 急性疼痛と慢性疼痛の違いを説明できる。 3. 慢性疼痛の原因となる疾患を列挙できる。
10月15日(月) 2限	星 秀樹准教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科診断学 主要症候</b>  口腔外科疾患における主要な症候を理解し、診断に必要な知識を修得する。	1. 主要な症候を列挙できる。 2. 主要な症候の概略を説明できる。 3. 主要な症候の原因、病理を説明できる。 4. 主要な症候を有する主な疾患を列挙できる。
10月15日(月) 3限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	<b>口腔外科診断学 検査法</b>  口腔外科の診察において必要な検査法を修得する。	1. 検査法の種類を列挙できる。 2. 基本的な検査法の概略を説明できる。 3. 基本的な検査法の臨床的意義を説明できる。 4. 各臨床検査の基準値を述べることができる。 5. 重要な検査の異常値の意味を説明できる。
10月15日(月) 4限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>補足実習</b> (出席確認有り)  今まで行った実習を復習し、理解を深める。 (講義室)	今まで行った実習内容を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月16日(火) 1限	小林琢也講師 (補綴・インプラント学)	<b>治療計画立案</b>  治療計画の立案を理解する。	治療計画の立案を概説できる。
10月16日(火) 2限	青村知幸助教 (口腔外科学)	<b>顎関節に生じる疾患の診断・治療計画</b>  顎関節に生じる疾患の診断・治療計画を修得する。	1. 顎関節に生じる疾患を列挙できる。 2. 顎関節に生じる疾患の症状を説明できる。 3. 顎関節疾患に対する治療法を説明できる。
10月16日(火) 3限	青村知幸助教 (口腔外科学)	<b>顎関節症の診断・治療計画</b>  顎関節症の診断・治療計画を修得する。	1. 顎関節症の疾患概念を説明できる。 2. 顎関節症の症型分類を説明できる。 3. 顎関節症に対する検査法を説明できる。 4. 顎関節症の各症型に対する治療法を説明できる。
10月16日(火) 4限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>自主学习</b> (出席確認無し)	
10月17日(水) 1限	青村知幸助教 (口腔外科学)	<b>中間試験</b>	10月12日～16日までの講義の内容を説明できる。
10月17日(水) 2限	田中光郎教授 (小児歯科学)	<b>小児齲蝕のリスク要因</b>  小児齲蝕のリスク要因について理解する。	1. 小児齲蝕に特徴的なリスク要因を列挙できる。 2. 小児齲蝕発症とリスク要因との関連を説明できる。 3. 乳歯齲蝕による全身的影響を説明できる。 4. 乳歯齲蝕による局所的影響を説明できる。
10月17日(水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 柳谷隆仁助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>実習 模型作製</b>  形成実習用模型の作製法を理解する。 (3F 臨床実習室)	1. 適切な実習用天然歯を選択できる。 2. 適切な位置に天然歯を植立できる。
10月18日(木) 1限	齋藤亮講師 (小児歯科学)	<b>小児齲蝕の臨床症状とエックス線所見</b>  小児齲蝕の臨床症状の特徴とエックス線写真像を理解する	1. 小児齲蝕の特徴を列挙できる。 2. 小児齲蝕の臨床症状を列挙できる。 3. 小児のエックス線検査の方法と読影項目を説明できる。 4. 乳歯・幼若永久歯のエックス線写真の正常像を説明できる。 5. 乳歯・幼若永久歯の齲蝕のエックス線写真像を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月18日(木) 2限	田中光郎教授 (小児歯科学)	<b>小児齲蝕の予防・進行抑制</b>  齲蝕の予防法と進行抑制法を臨床に則して理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>Stephan カーブの持つ意味を説明できる。</li> <li>歯口清掃指導の原則を列挙できる。</li> <li>哺乳と哺乳ビン齲蝕を関係づけて説明できる。</li> <li>薬物局所応用とその基本理論を説明できる。</li> <li>フッ化物の局所応用法について、具体的に述べるができる。</li> <li>歯磨剤・洗口剤について説明できる。</li> <li>フッ素の齲蝕予防機序を述べるができる。</li> <li>フッ素の毒性について説明できる。</li> <li>シーラントの術式と予後について説明できる。</li> </ol>
10月18日(木) 3、4限	田中光郎教授 齋藤 亮講師 浅川剛吉助教 浅川麻美助教 両川明子助教 (小児歯科学)	<b>実習 ラバーダム・シーラント実習</b>  小児の歯科治療に必須のラバーダム防湿法を修得する。 レジン系、グラスアイオノマー系シーラントの適応症と実際の手技を修得する。 (3F 臨床実習室)	A ラバーダム <ol style="list-style-type: none"> <li>必要な器具を列挙できる。</li> <li>クランプを正しく選択できる。</li> <li>シートに適切な穴を開けることができる。</li> <li>複数歯にかけることができる。</li> <li>フロス結紮ができる。</li> <li>フレームを正しく装着することができる。</li> </ol> B シーラント <ol style="list-style-type: none"> <li>レジン系、グラスアイオノマー系シーラントの違いを説明できる。</li> <li>必要な器具を列挙できる。</li> <li>ラバーダム防湿が的確にできる。</li> <li>シーラントが的確に実施できる。</li> </ol>
10月19日(金) 1限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>自主学習 (出席確認無し)</b>	
10月19日(金) 2限	三浦廣行教授 (歯科矯正学)	<b>矯正歯科臨床における診断学</b>  矯正臨床における診断の特徴と目的を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>診断に対する基本的理念を説明できる。</li> <li>矯正臨床における診断の特徴と目的を説明できる。</li> <li>矯正歯科臨床に必要な医療面接と診療に対する具体的な方法を説明できる。</li> <li>医療面接と診療から得られた情報を診断に反映できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月19日(金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 柳谷隆仁助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>実習 模型作製</b>  形成実習用模型の作製法を理解する。 (3F 臨床実習室)	1. 適切な実習用天然歯を選択できる。 2. 適切な位置に天然歯を植立できる。
10月22日(月) 1限	金野吉晃講師 (歯科矯正学)	<b>頭蓋顔面形態の分類</b>  顔面形態の臨床診査について理解する。	1. 顔面形態の臨床診査の意義を説明できる。 2. 顔面の正貌所見について説明できる。 3. 顔面の側貌所見について説明できる。 4. 口唇の所見について説明できる。 5. E-line について説明できる。
10月22日(月) 2限	若林香枝助教 (歯科矯正学)	<b>矯正模型の分析</b>  矯正診断用の模型の分析法について理解する。	1. 模型分析の意義を説明できる。 2. 咬合分類について説明できる。 3. 上下顎咬合状態を説明できる。 4. 計測項目を説明できる。
10月22日(月) 3限	清野幸男准教授 (歯科矯正学)	<b>セファロ分析</b>  矯正診断用のセファロの分析法について理解する。	1. セファロ分析の意義を説明できる。 2. セファロ写真の透写について説明できる。 3. セファロ分析に必要な計測点を説明できる。
10月22日(月) 4限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>補足実習</b> (出席確認有り)  今まで行った実習を復習し、理解を深める。 (講義室)	今まで行った実習内容を説明できる。
10月23日(月) 1限	佐藤和朗講師 (歯科矯正学)	<b>Angle I 級症例の診断と治療</b>  Angle I 級症例の診断と治療方法を理解する。	1. Angle I 級の症状を説明できる。 2. Angle I 級の原因を列挙できる。 3. Angle I 級による障害を列挙できる。 4. Angle I 級の治療方法を列挙できる。
10月23日(火) 2限	間山寿代助教 (歯科矯正学)	<b>Angle II 級症例の診断と治療</b>  Angle II 級症例の診断と治療方法を理解する。	1. Angle II 級の症状を説明できる。 2. Angle II 級の原因を列挙できる。 3. Angle II 級による障害を列挙できる。 4. Angle II 級の治療方法を列挙できる。



月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月23日(火) 3限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>Angle III 級症例の診断と治療</b>  Angle III 級症例の診断と治療方法を理解する。	1. Angle III 級の症状を説明できる。 2. Angle III 級の原因を列挙できる。 3. Angle III 級による障害を列挙できる。 4. Angle III 級の治療方法を列挙できる
10月23日(火) 4限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>臨床ローテーション実習Ⅱの説明</b>  臨床ローテーション実習Ⅱの内容、目的を理解する。	1. 臨床ローテーション実習Ⅱの内容を列挙できる。 2. 臨床ローテーション実習Ⅱの目的を説明できる。
10月24日(水) 1限	間山寿代助教 (歯科矯正学)	<b>中間試験</b>	10月17日～23日までの講義内容を時間内に説明できる。
10月24日(水) 2限	中居賢司教授 (関連医学)	<b>歯科疾患治療計画立案の際に必要な内科疾患のリスク評価</b>  歯科疾患治療計画立案の際に必要な内科疾患のリスク評価について理解する。	1. 医療面接の基本を説明できる。 2. 既往歴、家族歴より全身疾患のリスクを説明できる。 3. 身体所見および臨床徴候より高リスクの内科疾患を説明できる。
10月24日(水) 3、4限	三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 山田裕之助教 (歯科矯正学)	<b>実習 エックス線解剖学とセファロ分析</b>  エックス線写真の読影に必要な解剖を理解する。 (3F 臨床実習室)	1. エックス線写真の読影に必要な解剖について説明できる。 2. 頭蓋骨を説明できる。 3. 顔面骨を説明できる。 4. 脳頭蓋底を説明できる。
10月25日(木) 1限	岸光男准教授 (予防歯科学)	<b>口臭の診断・予防</b>  口臭の診断を理解する。	1. 口臭の分類を説明できる。 2. 口臭の原因を説明できる 3. 口臭の予防と処置を説明できる。
10月25日(木) 2限	稲葉大輔准教授 (予防歯科学)	<b>口腔疾患の予防: フッ化物の応用</b>  齲蝕予防のため、フッ化物について理解する。	1. 自然界のフッ化物について説明できる。 2. フッ化物の人体に対する為害作用を説明できる。 3. 飲料水中のフッ化物の至適濃度について説明できる。 4. フッ化物の齲蝕予防機序について説明できる。 5. フッ化物の全身応用法、局所応用法について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月25日(木) 3、4限	阿部晶子講師 岸 光男准教授 南健太郎助教 杉浦 剛助教 (予防歯科学)  歯周療法学	<b>実習 臨床ローテーション 実習Ⅱ</b>  <b>A. 臨床相互実習</b> スケーリング・クリーニング 基本的なスケーリング・クリーニングの術式を理解する。 (外来) <b>B. 口臭測定実習</b> 口臭測定方法および結果を理解する。 (4階会議室) <b>C. フッ化物の応用実習</b> 齲蝕予防としての、フッ化物の応用法を理解する。 (2F基礎第2実習室) <b>D. 補足実習</b> 2コース内で行った実習を復習し、理解を深める。 (講義室)	A. 相互実習において、術者として、適切なスケーリング・クリーニングが実施できる。  B. 相互実習において、口臭を測定し、その結果を相手に説明できる。  C. 臨床におけるフッ化物製剤の安全な取り扱いを説明できる。  D. 今までに行った実習内容を説明できる。
10月26日(金) 1限	稲葉大輔准教授 (予防歯科学)	<b>齲蝕と歯周疾患のリスク要因と予防</b>  齲蝕および歯周疾患のリスク要因と予防について理解する。	1. 齲蝕のリスク要因を列挙し、齲蝕発症との関連を説明できる。 2. 齲蝕予防について説明できる。 3. 代用甘味料について説明できる。 4. 歯周疾患のリスク要因を列挙し、その発症との関連を説明できる。 5. 齲蝕および歯周疾患に関するリスク試験を説明できる。
10月26日(金) 2限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>口腔疾患の予防(プラークコントロール2)</b>  口腔疾患の予防について理解する。	1. 歯磨剤の成分と効果について説明できる。 2. ブラッシング方法の種類とその特徴を説明できる。 3. 補助清掃用具の種類とその使用方法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月26日(金) 3,4限	阿部晶子講師 岸 光男准教授 南健太郎助教 杉浦 剛助教 (予防歯科学)  歯周療法学	<b>実習 臨床ローテーション 実習Ⅱ</b>  <b>D 臨床相互実習</b> スケーリング・クリ ーニング (外来) <b>A 口臭測定実習</b> (4階会議室) <b>B フッ化物の応用実 習</b> (2F基礎第2実習室) <b>C 補足実習</b> (講義室)	一般目標、到達目標は10月25日参照の こと。
10月29日(月) 1限	杉浦剛助教 (予防歯科学)	<b>口腔疾患の予防:定期 口腔管理の意義</b>  定期口腔管理の意義 を理解する。	1. 定期口腔診査の意義を説明できる。 2. 定期口腔診査の内容を説明できる。
10月29日(月) 2限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>中間試験</b>	1. 10月24日～29日までの講義内容を時 間内に説明できる。
10月29日(月) 3,4限	阿部晶子講師 岸 光男准教授 南健太郎助教 杉浦 剛助教 (予防歯科学)  歯周療法学	<b>実習 臨床ローテーション 実習Ⅱ</b>  <b>C 臨床相互実習</b> スケーリング・クリ ーニング (外来) <b>D 口臭測定実習</b> (4階会議室) <b>A フッ化物の応用実 習</b> (2F基礎第2実習室) <b>B 補足実習</b> (講義室)	一般目標、到達目標は10月25日参照の こと。
10月30日(火) 1,2限	阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>補足実習</b> (出席確認有り)  <b>今まで行った実習を 復習し、理解を深め る。</b> (講義室)	今まで行った実習内容を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月30日(火) 3、4限	阿部晶子講師 岸 光男准教授 南健太郎助教 杉浦 剛助教 (予防歯科学)  歯周療法学	<b>実習</b> <b>臨床ローテーション</b> <b>実習Ⅱ</b>  <b>B 臨床相互実習</b> スケーリング・ク リーニング (外来) <b>C 口臭測定実習</b> (4階会議室) <b>D フッ化物の応用実習</b> (2F 基礎第2実習室) <b>A 補足実習</b> (講義室)	一般目標、到達目標は10月25日参照のこと。
10月31日(火)	予備日		

コース最終筆記試験

月 日	担 当		
11月1日(木) 2限		2 コース最終筆記試験 ①	10/3～10/10 講義内容に関する筆記試験
11月1日(木) 4限		2 コース最終筆記試験 ②	10/12～10/16 講義内容に関する筆記試験
11月2日(金) 2限		2 コース最終筆記試験 ③	10/17～10/29 講義内容に関する筆記試験
11月2日(金) 4限		2 コース最終筆記試験 ④	10/3～10/30 実習内容に関する筆記試験

教科書・参考書・推薦図書一覧 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 第4版	赤崎昭文ほか編	永末書店	2011年
参	接着性コンポジットレジン修復の基礎と臨床 (「日本歯科評論」特別号)	山田敏元ほか編	ヒョーロン・パブリッシャーズ	2007年
教	新予防歯科学 4版	米満正美他編	医歯薬出版	2010年

	書名	著者氏名	発行所	発行年
参	フッ化物応用の科学	日本口腔衛生学会・フッ化物応用委員会 編	口腔保健協会	2010年
参	実践予防歯科	予防歯科臨床教育協議会 編	医歯薬出版	1999年
参	口腔保健実践ガイドブック 2版	荒川浩久ほか編	学建書院	2010年
参	口腔保健マニュアル 4版	安井利一編	南山堂	2005年
教	臨床歯周病学	吉江弘正ほか編	医歯薬出版	2007年
参	標準歯周病学 4版	鴨井久一ほか編	医学書院	2005年
参	失敗しない歯周外科:キュレタージから再生療法まで	小方頼昌、國松和司 著	クインテッセンス出版	2007年
推	歯周病専門用語集	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2007年
推	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 原著 3版	E.S. コーエン 編、鴨井久一 監訳	西村書店	2009年
教	歯内治療学 4版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2012年
推	歯内療法失敗回避のためのポイント 47:なぜ痛がるのか、なぜ治らないのか	高橋慶荘 編	クインテッセンス出版	2008年
教	口腔外科学 3版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2010年
推	口腔外科学 4版	泉廣次、工藤逸郎 監修	学建書院	2008年
推	標準口腔外科学 3版	野間弘康、瀬戸皖一 編	医学書院	2004年
推	最新口腔外科学 総論・各論 4版 全2巻	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	1999年
参	カラーアトラス サクシント口腔外科学 3版	内山健志、大関悟ほか編	学建書院	2011年
参	イラストでみる口腔外科手術 第1巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス出版	2010年
参	ハンディ口腔外科学 2版	新藤潤一 編	学建書院	2005年
教	歯科矯正学 5版	相馬邦道、山本照子ほか編	医歯薬出版	2008年
推	プロフィットの現代歯科矯正学 新版	William R. Proffit 著、高田健治 訳	クインテッセンス出版	2004年
教	歯科放射線学 4版	古本啓一、岡野友宏、小林馨 編	医歯薬出版	2006年
教	歯科臨床における画像診断アトラス	日本歯科放射線学会 編	医歯薬出版	2008年
参	Q & A で学ぶ歯科放射線学: SBO s 講義	金田隆 編	学建書院	2011年
教	小児の口腔科学 2版	前田隆秀ほか著	学建書院	2009年
参	小児歯科学 総論・各論 全2巻	山下浩 編	医歯薬出版	総論 1977年 各論 1980年
参	臨床小児歯科学	長坂信夫 編	南山堂	1990年
参	現代小児歯科学:基礎と臨床 改訂5版	黒須一夫 編著	医歯薬出版	1994年
参	小児の口腔軟組織疾患:診断アトラス	甘利英一、武田泰典 著	医学情報社	1995年

	書名	著者氏名	発行所	発行年
参	簡明小児歯科学 4版	大森郁朗 著	医歯薬出版	1996年
参	新小児歯科学	祖父江鎮雄ほか編	医歯薬出版	2001年
参	小児歯科学 4版	高木裕三ほか編	医歯薬出版	2011年

#### 成績評価方法

<p>講義（65点以上で合格）：コース最終筆記試験の総合評価  実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）評価、コース最終実習筆記試験の総合評価  講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。</p> <p>備考  実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価対象とする。  講義・実習ともに欠席・遅刻に応じて減点する。</p>
--

#### オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
野田 守	A-ii	水	16:30～	時間は事前に連絡を下さい。調整可能です。
工藤義之	B-ii			
八重柏隆	A-i	月～金	17:00～19:00	不在の時は教室員に伝言し、メモを部屋に入れる。
成石浩司	B-i	月～金		不在の時はメモを部屋に入れる。
小豆島正典	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言の上、必要があればアポイントをとること。
東海林理	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言の上、必要があればアポイントを取ること。
中居賢司	B-i	月～金	18:00 移行	電話あるいはメールで予約する。不在の時は教務課に伝
星 秀樹	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
青村知幸	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
佐藤雅仁	B-i	月～金	15:00～18:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
阿部晶子	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
間山寿代	B-i	月～木		不在のときは教室員に伝言のこと
田中光郎	B-i	月～金		不在の時は医局員に伝言のこと。
齋藤 亮	B-i	月～金		不在の時は医局員に伝言のこと。
成田欣也	B-i	月～金		時間があいていればいつでも可。 e-mail でも対応可 knarita@iwate-med.ac.jp

授業に使用する機械・器具と使用目的

[DTP]

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ノートブックパソコン・ProBook・一式	4520S/CT	1	視聴覚用機器	講義の資料提示用
ノートパソコン・レッツノート一式	CF-S9LWEJDS	1	基礎実習専用機器	実習の資料提示用
フラットヘッドスキャナ	GT-X970	1	視聴覚用機器	実習の資料提示用
カラーレーザープリンター	LBP5050N	1	基礎実習専用機器	実習配布資料作成用
ノートパソコン・VAIO一式	VPCS149FJ	1	基礎実習専用機器	実習資料提示用
iPad Wi-Fi モデル 64GB	MC916J/A	1	視聴覚用機器	講義資料提示用
レーザービームプリンター	LBP7200C	1	基礎実習専用機器	実習配布資料作成用
ノートパソコン MacBook Air	MD224J/A	1	視聴覚機器	講義資料提示用
MiCD ルーペ フリップアップ	SL-R	1	臨床基礎実習用機器	臨床基礎実習時のデモ用